

殺菌消毒薬(特殊絆創膏を含む)

製品群No. 54

ワケシートNo.34

リスクの程度 の評価	評価の観点	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ		D 薬用のおそれ	E 最悪有害事象(感作歴、過敏状態等) (重篤な副作用につながらず)	F 効能・効果(症状の悪化につながらず)	G 使用方法(薬使用のおそれ)	H スイッチ化等に伴う使用環境の変化	用法用量	機能効果
				重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ		
リスクの程度 の評価	評価の観点	A 薬理作用	B 相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	機能効果
殺菌消毒成分	マーキョロク ロム	本薬は水溶液中でイオンを形成している。皮膚、粘膜に塗布すると、このイオンが細菌のSH基を結合し、これを不活性化させ、消毒効果をあらわす。ふどう球菌、連鎖球菌、肺炎球菌、溶血性連鎖球菌などの細菌に強い殺菌作用が、細菌の芽胞(芽胞菌、芽胞菌)に対しては殺菌作用が弱い。	相互作用 特異性(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの
	マーキョロク ロム	本薬は水溶液中でイオンを形成している。皮膚、粘膜に塗布すると、このイオンが細菌のSH基を結合し、これを不活性化させ、消毒効果をあらわす。ふどう球菌、連鎖球菌、肺炎球菌、溶血性連鎖球菌などの細菌に強い殺菌作用が、細菌の芽胞(芽胞菌、芽胞菌)に対しては殺菌作用が弱い。	相互作用 特異性(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの
殺菌消毒成分	マーキョロク ロム	本薬は水溶液中でイオンを形成している。皮膚、粘膜に塗布すると、このイオンが細菌のSH基を結合し、これを不活性化させ、消毒効果をあらわす。ふどう球菌、連鎖球菌、肺炎球菌、溶血性連鎖球菌などの細菌に強い殺菌作用が、細菌の芽胞(芽胞菌、芽胞菌)に対しては殺菌作用が弱い。	相互作用 特異性(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの
	マーキョロク ロム	本薬は水溶液中でイオンを形成している。皮膚、粘膜に塗布すると、このイオンが細菌のSH基を結合し、これを不活性化させ、消毒効果をあらわす。ふどう球菌、連鎖球菌、肺炎球菌、溶血性連鎖球菌などの細菌に強い殺菌作用が、細菌の芽胞(芽胞菌、芽胞菌)に対しては殺菌作用が弱い。	相互作用 特異性(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの	重篤な副作用のおそれ アレルギー性皮膚炎、アナフィラキシー等によるもの

殺菌消毒薬(特殊絆創膏を含む)

製品群No. 54

ワークシートNo.34

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	D 適用のお それ	E 患者背景(既往歴、治療状況等) (重篤な副作用につながるおそれ)	F 効果・効果(症状の悪化 につながるおそれ)	G 使用方法(使用法のおそれ)	H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	機能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異的な 副作用によるもの
ヨウ素	カデックス錠 0.9%	本剤は、ヨウ素による殺菌作用が、カデックス錠より重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。
ヨウ素	フレボダイ ンシオン 有 効ヨウ素 1g/100mL	・使用濃度において、殺菌作用(グラム陰性菌、グラム陽性菌、結核菌、真菌、一部のウイルス)に有効である。・細菌、真菌、結核菌、一部のウイルスに有効である。・細菌、真菌、結核菌、一部のウイルスに有効である。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。
ヨウ素	フレボダイ ンシオン 有 効ヨウ素 1g/100mL	・使用濃度において、殺菌作用(グラム陰性菌、グラム陽性菌、結核菌、真菌、一部のウイルス)に有効である。・細菌、真菌、結核菌、一部のウイルスに有効である。・細菌、真菌、結核菌、一部のウイルスに有効である。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。	併用注意 併用薬(他)との併用により重篤な副作用が起きるおそれがある。

製品群No. 55

製品群No. 55

[illegible]

ワークシートNo.35

風車成分	
------	--

しもやけ・あかざれ用薬

製品群No. 55

ワークシートNo.35

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	D 薬用のおそれ	E 副作用等(既往歴、治療状況等) (重篤な副作用につながるおそれ)	F 状態の悪化(症状のおそれ) (つながるおそれ)	G 使用法(薬使用のおそれ)	H スイッチ 化等に伴う 副作用の 悪化	用法用量	効能効果
評価の視点	薬理作用	相互作用 併用禁忌(他 剤との併用に より重大な問 題が生ずる おそれ)	重篤な副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異体質・ア レルギー等 に基づくもの によるもの	重篤ではないが、注意すべ き副作用のおそれ 薬理・毒性に 特異体質・ア レルギー等 に基づくもの によるもの	重篤な副作用 (投与により肺炎の 発生、悪化のおそ れ)	状態の悪化 につながるお それ	使用法(薬使用のおそれ) 使用量に上 限があるもの のおそれ	スイッチ化 等に伴う副作用の 悪化	用法用量	効能効果
抗炎症成分	グリチルレチ ン酸 カルマク リン酸	グリチルレチ ン酸は急性 炎症に対する 抗炎症作用 (環状酸素解 放、プロスタ グランド素 質合成抑制、 免疫抑制、 抗腫瘍、抗 癌作用)を有 する。抗炎症 作用は至成 分であるグリ チルレチン酸 の化学構造 がハイドロ コルチゾンに 類似している ところによる と推定され る。							通常、症状により用量を1 日一回経口投与に製剤または 錠剤とする。	湿疹、皮膚その 他

化膿性疾患用薬

製品群No. 56

ワグシートNo.36

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ		D 適用のお それ	E 患者背景(既往症、治療法等) (重篤な副作用につながるおそれ)		F 効能・効果(症状の悪化 につながるおそれ)	G 使用方法(使用のおそれ)		H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	用法用量	効能効果
			重篤な副作用のおそれ	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ		慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ		使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)			
評価の視点	薬理作用	相互作用	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
抗菌成分 (サルファ剤)	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
スルファメ トキサゾール	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
スルファイミ ジン	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
スルファジア ジン	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
ホモスルファ ミン	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果
サリチル酸	外用がない ので、眼薬の スルファジア ザン、点眼 薬(サイアジ ン)で代用 する。	相互作用 あり	併用注意	重篤でないが、注意すべ き副作用のおそれ	薬理・毒性に 基づくもの によるもの	過敏性	通致禁忌	慎重投与 (投与により腫瘍の 再発・悪化のおそ れ)	症状の悪化 につながるお それ	使用法(使用のおそれ)	使用法(使用のおそれ)	用法用量	効能効果

ワークシートNo.36

[illegible]

ワークシートNo.36

殺菌成分

化膿性疾患用薬

製品群No. 56

ワケシートNo.36

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ	C' 重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	D 薬理作用のおそれ	E 患者背景(既患症、治療状況等) 《重篤な副作用につながらずおそれ》	F 効能・効果(症状の悪化につながらずおそれ)	G 使用方法(使用法のおそれ)	H スイッチ化等に伴う使用環境の変化	用法用量	効果効果
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理作用のおそれ	薬理作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ
イフプロフェン ニコチン	消炎・解熱・鎮痛作用を有し、抗炎症作用は、血管透過性亢進の抑制、白血球遊走抑制、プロスタグランジン合成阻害、血小管拡張抑制、肉芽細胞遊走抑制、痛みの増強に基づいて考えられている。	併用禁忌(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理作用のおそれ	薬理作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ
ベンカム 膏・クリーム	消炎・解熱・鎮痛作用を有し、抗炎症作用は、血管透過性亢進の抑制、白血球遊走抑制、プロスタグランジン合成阻害、血小管拡張抑制、肉芽細胞遊走抑制、痛みの増強に基づいて考えられている。	併用禁忌(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理作用のおそれ	薬理作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ
デルマリン 軟膏	消炎・解熱・鎮痛作用を有し、抗炎症作用は、血管透過性亢進の抑制、白血球遊走抑制、プロスタグランジン合成阻害、血小管拡張抑制、肉芽細胞遊走抑制、痛みの増強に基づいて考えられている。	併用禁忌(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理作用のおそれ	薬理作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ
イオウ	イオウは皮膚表面でも余分に吸収され、化学刺激に類似しているところによるものと推定される。	併用禁忌(他剤との併用により重篤な副作用が生ずるおそれ)	重篤な副作用のおそれ	重篤ではないが、注意すべき副作用のおそれ	薬理作用のおそれ	薬理作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ	重篤な副作用のおそれ

ワークシートNo.37

[illegible]

2/22

鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬（パップ剤を含む）

製品群No. 57

ワーキングシートNo.37

リスクの程度 の評価	A 薬理作用	B 相互作用	C 重篤な副作用のおそれ		D 適用のおそれ	F 効能・効果（症状の悪化につながるおそれ）		G 使用方法（使用のおそれ）		H スイッチ 化等に伴う 使用環境の 変化	機能効果
			重篤な副作用のおそれ	併用注意	重篤な副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ		
評価の視点	薬理作用	相互作用	重篤な副作用のおそれ	併用注意	重篤な副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ
フェルビナク 軟膏	プロスタグランジン合成阻害作用を有し、疼痛、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。	併用禁忌（他剤との併用に より重篤な副 作用が懸念す るおそれ）	重篤な副作用のおそれ	併用注意	重篤な副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	留意すべき副作用のおそれ	下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
フェルビナク 貼付剤	プロスタグランジン合成阻害作用を有し、疼痛、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。										下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
フェルビナク ローション	プロスタグランジン合成阻害作用を有し、疼痛、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。										下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
カンフル	カンフル新刺激作用を有し、皮膚に塗布すると発赤又は痒感を生ずる。										下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
デレピン油											下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
ハッカ油											下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
メントール											下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。
ユーカリ油											下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎作用、急性炎症、慢性炎症に対する鎮痛・抗炎症作用を示す。

ワークシートNo.37

抗ヒスタミン成分

ワークシートNo.37

外用溫疹·皮膚炎用藥

鎮痛・鎮痒・鎮痙・収れん・消炎薬（バップ剤を含む）

製品群No. 57

ワークシートNo.37

[illegible]